

【平成17年度専修学校教育重点支援プラン推進事業】

事業名	インストラクショナルデザイン手法を用いたリハビリテーションのeラーニング教材開発および教授法の教育プログラム開発		
学校法人名	学校法人麻生塾		
学校名	麻生情報ビジネス専門学校		
代表者	麻生 泰	担当者・連絡先	IT教育推進室 徳重 稔 092-415-2290

＜事業の概要＞

リハビリテーション分野に限らず、eラーニング活用のニーズは社会的に高まっている。本事業では、リハビリテーション分野における養成教育や卒業後教育にeラーニングを活用して、より効率的な教育活動ができるよう、現在教育界で注目されているインストラクショナルデザイン手法を用いて、教材開発・教授法・実施法に関する実証研究を行い、その効果について検討した。

＜成 果＞

本事業の実施にあたっては、平成17年8月12日第1回実施委員会より平成18年3月7日の第11回委員会までの委員会活動を通し、インストラクショナルデザイン手法を調査研究すると共に、その手法を用いたeラーニングコンテンツを作製し、授業を実施しその有用性に関して検証を行なった。その活動内容及び成果内容を以下に報告する。

1. 製作成果物
2. 総括

【1. 製作成果物】

本事業活動において製作した成果物は、以下である。

(1) eラーニング教材開発および教授法の教育プログラム

インストラクショナルデザイン手法を用いた、分析、設計、開発、実施、評価のプロセス解説をおこなう。

(2) 教育プログラムに基づいたコンテンツ開発および教授例

(1)の教材の内容に準拠して実際に作成したコンテンツの開発内容、教授方法、また受講した学生の評価を分析する。

【2. 総括】

インストラクショナルデザイン手法に基づいてeラーニングコンテンツを作製するという、大変ハードなスケジュールではあったが、何とか終了にこぎつけた。担当した先生方はeラーニングコンテンツも開発したことがなければ、インストラクショナルデザインも知らない。一からの学習であったが、各プロセスを踏んだ開発が行なえた。授業を実施した学生の評判も上々でeラーニングの有用性、インストラクショナルデザインの効果についても評価が行なえた。専門学校の委員は全員、このプロジェクトの内容に満足していただいた。今後は通常の授業へこの手法をどのように生かしていくか、またeラーニングのコンテンツに落とししていくかが課題となる。また、今回の研究をもう少し深くつっこんで研究を行ないたい。